

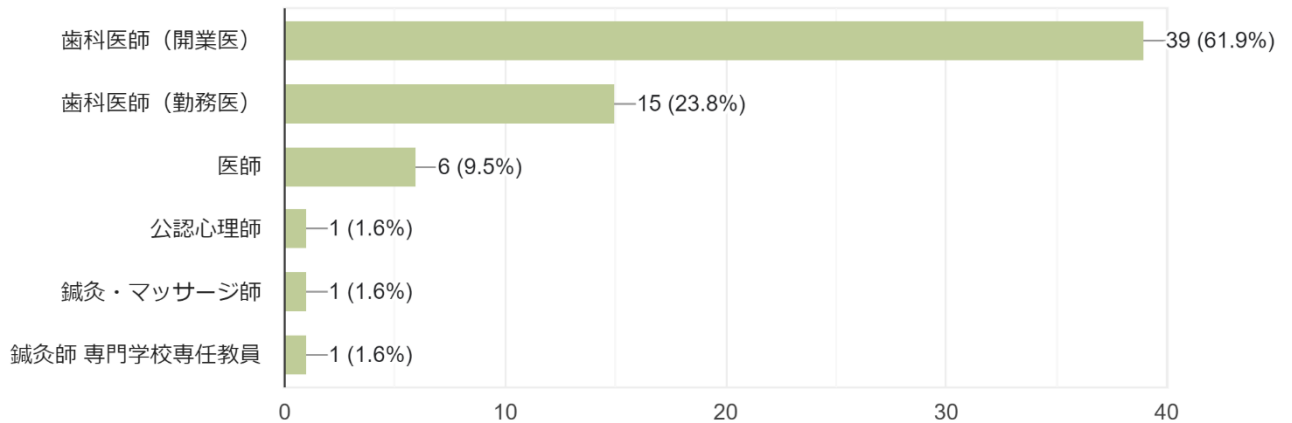
第4回歯科医のための Headache Academy アンケート集計結果

2023年12月3日(日) 13:00~16:00 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 120 名 (オンライン 104名 現地参加 8名 登壇者 8名)

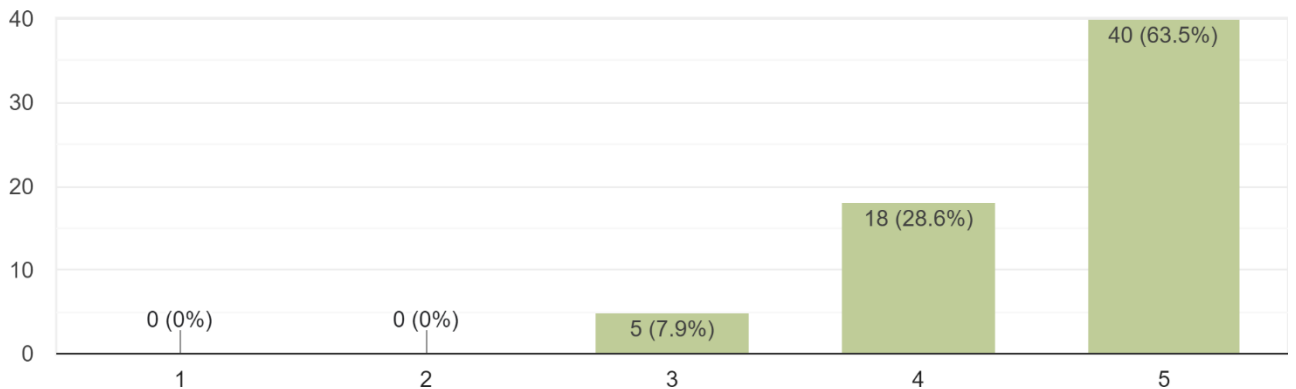
1. あなたの職種について教えてください。(複数回答可)

63件の回答



2. 今回のセミナーの感想をお聞かせください。

63件の回答

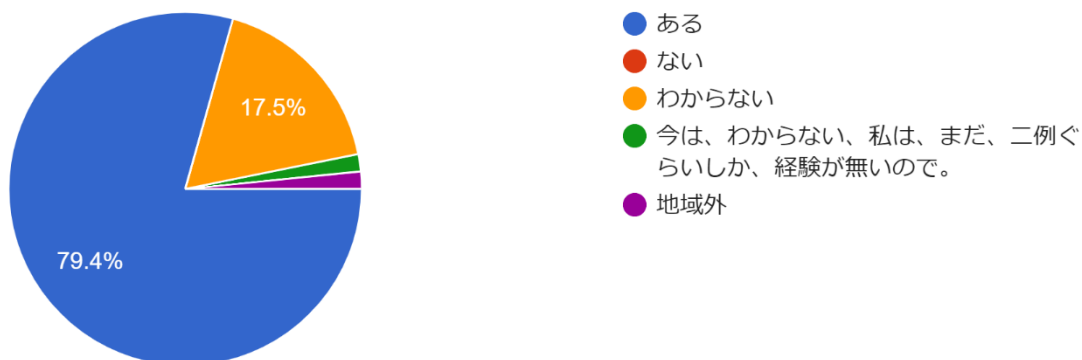


よくなかった

よかった

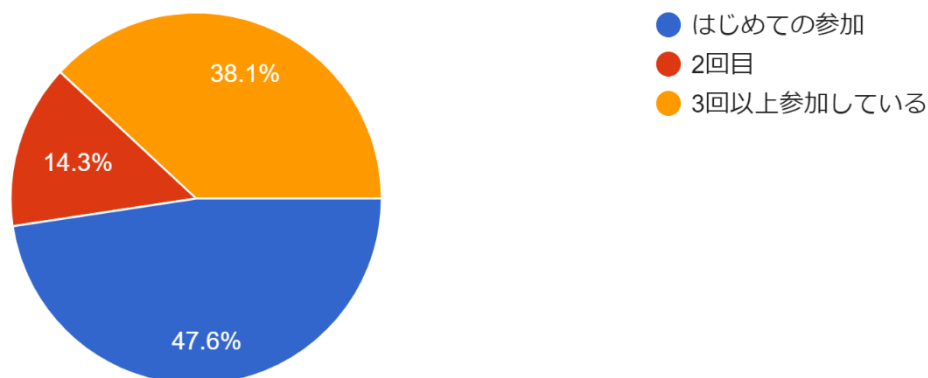
3. 今後、歯科口腔外科領域における慢性痛診療に...の協力医療機関との連携にご興味はありますか？

63 件の回答



4. 本事業「歯科セミナー」へのご参加は何回目ですか？


63 件の回答



5. 歯科口腔外科領域における慢性痛と集学的診療に関するご意見をお願いいたします。

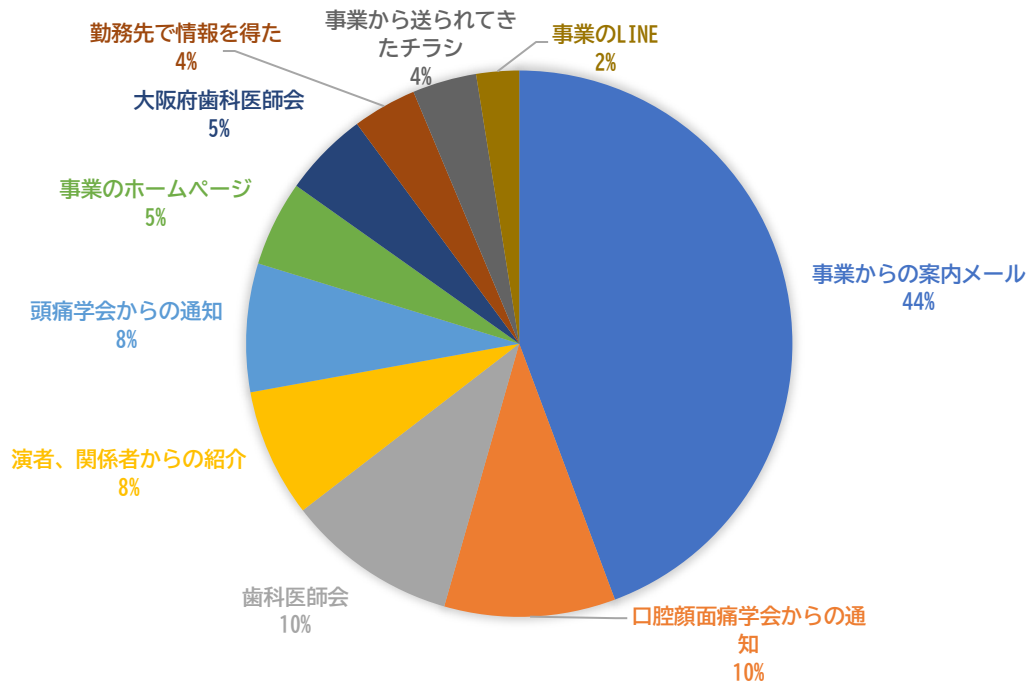
- ・慢性疼痛と心理社会的因子における歯科の介入と専門職の介入の部分の区分けのところが個人的に興味深かったです。
- ・多面的な治療を私も学びたいと思っているが、現状では昔ながらの治療及び紹介になってしまう
- ・特になし

- ・今後とも進めていただきたい
- ・積極的に活用します
- ・紹介出来る知識を深く得たい
- ・有益だと思います。
- ・必須と考えます。
- ・重要だと思う
- ・質問に答えてもらっていませんか？
- ・自分で勉強するだけでは難しい分野を勉強する機会を与えていただき、ありがとうございます。
- ・国際分類が余りに複雑で理解が困難
- ・連携が取れるこの様な勉強会は有用だと思います。
- ・このような取り組みを医療保険的にそれなりの点数で評価してほしい。
- ・頭痛と口腔内関連痛について学ぶことができよかったです
- ・地域で連携できる病院がわかりやすくなると紹介しやすいと思います。
- ・セミナー内で石垣先生がおっしゃっていたとおり、一般歯科医に広く啓発することが重要と考えます。
- ・まだまだ難しいと感じました。今後も研修会の企画どうぞよろしくお願いいたします。
- ・どこへ 紹介 すべきかがわからない
- ・慢性痛を取るのが難しい
- ・医科歯科の連携が重要である。
- ・紹介先の神経内科や心療内科でどのような治療が行われているのかをもっとも知ることができたらと思います。
- ・症例を多く経験するほど、集学的診療の必要性を感じます。
- ・最も必須と思われる精神科との連携に困難を感じます。痛み治療を熱心にされる精神科の先生はなかなかおられないのではないかと思います。
- ・連携先を探すのは、いまだに苦労しています。
- ・不定愁訴の患者さんに 何か改善の手がかりが ないかと 困っていました。選択肢のひとつとして 今後も勉強していきたいです。
- ・歯科口腔外科における慢性疼痛は、処置後の発生が多いということから、ペインクリニックにすら紹介するのに患者さんの抵抗が大きいのではないかと推測します。ペインクリニックや心療内科への紹介が役に立つという患者さんへの知識の普及も大切な取り組みとなるのではないかと思います。
- ・治療には抗うつ薬が使用され、一般歯科医が対応するにはハードルが高いと感じます。紹介できる二次医療機関が増えるといいなと思います。
- ・考え方がとても参考になった まず一旦落ちて多方面から考え治療の参考にしたいと思う

- ・判断が難しい
- ・協力医療機関ですが、紹介先からのレポートが殆どなく、、、
- ・ 歯科医師として咬合と顎関節症に対する診療を行なっております。他の分野の意見が必要だと思いました。
- ・神経内科や心療内科と連携したい場合に神経内科であれば日本頭痛学会でのHPより頭痛専門医を検索することができますが心療内科ではどのような先生に紹介すればいいのか悩むことがあります。何か参考になるような検索の仕方があれば教えていただきたいです。
- ・今まで漠然とした疑問を持っていただけだったので興味をもった
- ・いつもながら知識のアップデートに役立ちます。実際 一般的な歯科医院では おそらく常時使う薬剤でない トリプタノールの処方難しく感じます。慢性疼痛を疑う患者さんはルーティーンに治療が流されているところある日突然紛れ込み、その後対処困難な事態を招くことがあります。最後に話されたように、治療すると言うより、疾患の病態を知っていること、そしてどこへ紹介すればいいのかを知っていることが重要と思います。
- ・歯科医師の意識の向上と、社会への啓蒙活動がさらに必要と考えます。
- ・この分野は知識がないと診断できず、安易な歯科治療が行われた結果難治性の慢性痛に移行してしまう例を散見する。集学的診療は非常に有意義であると思われるし、知識の共有、アップデートも重要だと考える。
- ・今のところ考えていない。
- ・もっとこの様なセミナーを開催して、集学的診療の必要性をアピールしてもらいたいです。
- ・慢性疼痛は集学的治療が最良だと思います。しかし、歯科開業医はセンターや高次医療機関との連携や協働が必要になります。連携や協働に関する具体的なお話しを願います。
- ・今まで、歯に問題が無く、慢性的に疼痛を訴える患者さんが、何人かおられました。非常に参考になる講義でした。
- ・ 
- ・医師も歯科医も痛みについて学べば集学的診療は不要。
- ・連携が必要な患者さんは多いが一般歯科医師が知らない現状がある 更なる広報が必要 歯科口腔外科は、三叉神経支配領域に関連する事に精通することと、各地域において集学的治療は必須である
- ・頭痛難民を減らすためにも、医科の専門的な内容を減らし、歯科医向けの時間短めの講演会も企画していただきたいです。
- ・一般的に歯科口腔領域の慢性痛は難治性が多いという印象を持っておりますが、今回その機序や理由が少し理解できたと思います。

- ・思ったより関連性があった
- ・口腔顔面痛、や、 Burning Mouse. の 概念は、 知っておりましたが、 私 整形外科医も どのの 大阪地域の 先生に 紹介する、また、 関西医大の 水野先生に コンサルティングできる 事を 知りまして 勉強に なりました。
- ・補完代替医療も含めた検討も必要だと感じます。
- ・ありがたいです
- ・大阪ならどこにどの様に紹介すれば良いのかわからないです。
- ・基本的知識が欠けていると認識しました。
- ・診療をやっていて、原因のわからない疼痛に悩まされることがある。その時歯科の領域内だけで解決しようとしてうまくいかないことがある。その時今回の講習の知識が役に立つと思いました。
- ・歯科は開業医がほとんどですので、開業医がどのように、関わったら良いかをもっと取り上げてください。
- ・これからの検討課題です
- ・抜歯後のカウザルギーに悪戦苦闘してます。
- ・アンケートの答えになっているかわかりませんが、きっかけは様々ですが、歯の疾患が原因でない疼痛を訴えられる患者さんには、日常的に遭遇いたします。その際の対応には頭を悩ませていたところでした。今もお一人おられます。投薬で緩解するならばぜひ紹介したいのですがどこに紹介すればよいかわかりません。わかりやすい紹介先を教えていただけるとありがたいです。また医科で片頭痛と診断されている患者さんで、咬合治療を行う事で緩解、消失しているケースは数多く経験しております。頭痛の診断については私はわかりませんが、いわゆる頭痛と咬合の改善（基本的には姿勢改善ですが）はかなりの相関関係があるように実感しています。
- ・重要なことだと思います
- ・知る必要があるも保険診療で採算とれるかが問題かと思います
- ・口腔領域の慢性痛を訴える患者には結構高頻度で遭遇する。あまり確証も無いまま、筋痛症などと回答し経過観察を継続しているが、先日の講演は解決の糸口になると思う。

5. このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数選択可）



備考欄（ご質問などございましたらご入力ください）

- ・何時もタメになる講義ありがとうございます
- ・井川先生の講演がわかりやすかったです。
- ・臨床症例の提示もあり、今回もとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ハイブリッド開催でしたので地方からの参加が叶いました。心より御礼申し上げます。
- ・いつもありがとうございます
- ・いつも、貴重なお話をありがとうございます。
- ・web セミナー受け付け終了。とあり、参加できないと思いましたが、事務局のはからいで、参加させて頂きました。誠にありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ない
- ・前述しましたが、歯が原因でないと思われる歯痛、顔面痛に対応していただける大阪市近隣の医院を紹介していただきたいです。
- ・何回か参加しないと、とても理解できないですね

